

北海道中小企業団体中央会
会長 尾池一仁 様

新型コロナウイルス 感染症対策に係る要請

令和3年4月16日

札幌市長
秋元 克広

要 請

北海道中小企業団体中央会におかれましては、これまで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する取組にご尽力をいただいていることについて、厚くお礼申し上げます。

札幌市における感染を徹底して抑え込み、全道への感染拡大を防ぐため、令和3年3月27日から同年4月16日までの間、札幌市内において北海道の警戒ステージ4相当の協力を要請してきたところです。

しかしながら、従来型ウイルスに比べて感染力が強い傾向にある変異株の感染確認により入院患者数が増加する等、札幌市内の医療提供体制が厳しい状況にあることに加え、今月末からの大型連休に備えるため、昨日、北海道は、札幌市内における北海道の警戒ステージ4相当の協力要請を令和3年5月14日まで延長する決定をいたしました。

このことから、札幌市としても、更なる市内での感染拡大を防ぎ、医療提供体制を改善させることが重要であるものと認識しております。

重症化リスクが高い傾向にある変異株の感染の広がりを抑制することはもちろんのこと、長期化する新型コロナウイルス感染症の感染を収束させ、力強い経済活動を取り戻すために、より一層、官民一体となって感染防止に取り組むことが必要であり、そのためには事業者の皆様及び市民の皆様にご協力いただくことが不可欠であります。

以上のことから、関係する事業者の皆様等に対し、下記の内容について、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 従業員や来店客等の手指消毒を徹底すること。また、事業所や店舗内における共用部等の消毒を徹底すること
- 2 大型連休にあわせた長期休暇の取得の推奨すること。また、テレワークの活用による在宅勤務や時差出勤をより一層徹底すること
- 3 感染リスクを回避できない場合における従業員の不要不急の外出及び往来の自粛を徹底すること。加えて、従業員による「まん延防止等重点措置」を実施すべき区域を含む都府県等、行動制限が要請されている地域との不要不急の往来について、自粛を徹底すること
- 4 大型連休において、特に、感染リスクが高まる行為は控え、感染防止行動の実践を徹底すること。感染リスクを回避できない場合、従業員による旅行の自粛を推奨すること
- 5 飲食時における会話の際のマスクの着用、少人数での飲食の実践等、従業員による感染防止の取組を徹底すること